

2023年2月22日  
株式会社海外需要開拓支援機構  
(クールジャパン機構)

## インドを中心とする途上国において、マイクロファイナンスを通じて 金融包摂と所得向上に取り組む五常・アンド・カンパニーへ出資

- ・ 海外需要開拓支援機構は、インドを中心とする途上国において、マイクロファイナンス（中小零細事業者向け少額金融サービス）を通じて金融包摂と所得向上に取り組む日本のスタートアップである五常・アンド・カンパニー株式会社（以下「五常」）に対し、30億円の出資を決定。
- ・ 五常は、インド等5カ国で150万世帯を超える顧客にマイクロファイナンスを展開。19世紀に二宮尊徳が設立した相互扶助の考えに基づく金融制度「五常講」の「仁義礼智信」を現代の視点から解釈した行動規範（Guiding Principles）を、グループの事業運営の主軸とする。
- ・ 本件出資により、インパクト投資領域で日本の存在感を強め、海外現地における日本の認知度・信頼度向上に貢献。海外展開する日系企業との連携の創出を期待。

### ■ 出資決定

海外需要開拓支援機構は、インドを中心とする途上国において、マイクロファイナンスを通じて金融包摂と所得向上に取り組む日本のインパクト・スタートアップである五常・アンド・カンパニー株式会社（以下「五常」）に対し、30億円の出資を決定しました。

### ■ 出資の背景

インドは、経済成長が著しい一方、一人当たりGDP(2022)は世界139位と低く<sup>1</sup>、貧困人口は3.8億人と推計されています<sup>2</sup>。また、インドの銀行口座保有率は高いものの、他の先進国や新興国と比較すると、銀行による融資の普及率は低くとどまっています。

このような中、インドでは、低所得者層を対象に少額融資等を行うマイクロファイナンスの普及が進んでいます。

<sup>1</sup> IMF

<https://www.imf.org/external/datamapper/NGDPDPC@WEO/OEMDC/ADVEC/WEOWORLD>

<sup>2</sup> 国連開発計画(UNDP) 2021 Global Multidimensional Poverty Index (MPI)

<https://hdr.undp.org/content/2021-global-multidimensional-poverty-index-mpi#%2Findices%2FMPI=>

## ■ 出資意義と狙い

五常は、世界に先駆けて日本に誕生した相互扶助の考えに基づく金融制度「五常講」の5つの徳目である「仁義礼智信」を現代の視点から解釈した行動規範（Guiding Principles）を、グループの事業運営に反映しています。社会的インパクトと収益性の両立を目指す五常への出資とさらなる事業拡大により、事業展開国における日本の魅力の発信が期待されると共に、インパクト投資領域で日本の存在感を強め、海外現地における日本の認知度・信頼度向上に貢献することを目指します。また、海外展開する日系企業との連携創出も期待しています。

## ■ 創業者兼代表執行役慎泰俊からのメッセージ

日本で生まれ育った私が一番尊敬する事業家は二宮尊徳です。彼は1820年に五常講という金融制度をつくり、それは彼が手掛けた農村復興にも大きな役割を果たしたそうです。五常とは仁義礼智信、すなわち人を思いやること（これが儒教における正しいことの定義です）、正しいことをすること、正しいふるまいをすること、何が正しいのかを判断できること、そしてこれら四つのことを通じて人々から信頼されることを意味しています。二宮尊徳がそう信じていたように、私たちもこれが金融機関の運営において最も重要な価値であると信じています。私たちは、事業展開を通じて各国でこの価値を伝え続け、これらの価値観が全ての国のマイクロファイナンス機関運営においても普遍的であるということを示したいと思います。

私事ですが、私は仕事の傍ら、日本の社会的養育の現場活動や政策提言に15年以上関わってきました。児童福祉の現場でいかにお金が重要であるかを見てきたからこそ、今回出資頂いたお金の重さをよく知っているつもりです。出資頂いたお金は、事業を通じて現地の家計向上に役立てるのみならず、きちんとリターンを出し国富を増やすために努力します。

## ■ 出資先事業の概要

五常は、民間セクターの世界銀行をつくり、世界中に金融包摂を届けるために、2014年7月に設立されました。

五常は、マイクロファイナンス等の金融ライセンスを有する現地法人をインド等5カ国で設立・買収し、金融包摂と所得向上に取り組んでいます。世界に先駆けて日本に誕生した相互扶助の考えに基づく金融制度「五常講」の仕組み・考え方を応用して、顧客の側に立った低価格で良質な金融サービスを提供しています。五常講の「仁義礼智信」を現代の視点から解釈した行動規範（Guiding Principles）は、五常グループ役職員の日々の判断や行動の指針として、同グループのサービスの土台となっています。

五常は、グループ会社におけるローン申込・審査・貸付・返済等のプロセスをデジタル化することで、業務効率化と顧客利便性の向上を実現するなど高い優位性を有しています。

五常のグループ会社には、SATYA（インド）、Humo（タジキスタン）、MAXIMA（カンボジア）などがあり、とりわけ SATYA は、業務プロセスのデジタル化を強みとして、インドの歴史上最速で成長しているマイクロファイナンス機関です。

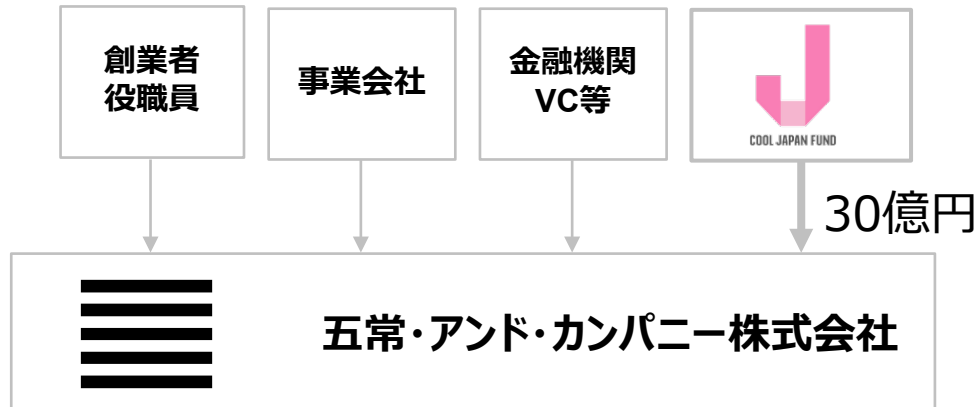
### **五常・アンド・カンパニー株式会社について**

設立 : 2014 年  
本社所在地 : 東京都渋谷区  
代表執行役 : 慎泰俊  
事業内容 : 途上国での中小零細事業者向け少額金融サービス（マイクロファイナンス）の提供  
ホームページ : <https://gojo.co/landing-page-jp>

本資料についてのお問合せ先：  
海外需要開拓支援機構（広報担当：楢本、立花）TEL 03-6406-7500  
ホームページ (<https://www.cj-fund.co.jp/>)

# インドを中心とする途上国において、マイクロファイナンスを通じて 金融包摂と所得向上に取り組む五常・アンド・カンパニーへ出資

## プロジェクト・スキーム



(海外需要開拓支援機構の出資意義)

## 海外現地における日本の認知度・信頼度向上に貢献

### 「五常」の特徴

- インド等5カ国で150万世帯を超える顧客にマイクロファイナンス（中小零細事業者向け少額金融サービス）を通じて金融包摂と所得向上に取り組む
- 19世紀に二宮尊徳が設立した、相互扶助の考えに基づく金融制度「五常講」の「仁義礼智信」を現代の視点から解釈した行動規範（Guiding Principles）を、五常グループ役職員の経営判断や日々の行動の指針として共有
- 「民間セクターの世界銀行」を目指して創業され、社会的インパクトと収益性の両立を目指す
- グループ会社のローン申込・審査・貸付・返済等のプロセスのデジタル化により、業務効率化と顧客利便性を向上

### 五常の価値観 (Values)

- **仁**：顧客の側に立つ。顧客視点で物事を見ることに力を尽くし、サービスを通じて顧客の目的達成を支援する
- **義**：原理原則に従う。例外なく、Guiding Principlesに従って行動する
- **礼**：傾聴する。謙虚で素直な心を持ち、他者の声に耳を傾け尊重する
- **知**：学び、考え、共有する。常識を疑い、現実解を考え、知識を他者と共有する
- **信**：本物であれ。取り繕わず真実を語ることで誠実さを示し、信頼を築く